

令和4年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策)のうち農山漁村関わり創出事業 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)のうち農山漁村関わり創出事業について、「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領(平成30年3月28日付け29農振第2262号農林水産省農村振興局長通知)の第13の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した農山漁村関わり創出事業の8事業実施主体について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる事業実施主体が5、良好と認められる事業実施主体が3との評価結果となった。

3. 各事業実施主体の評価結果
8件

メニュー	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
農山漁村体験研修の実施	株式会社大田原ツーリズム	／	／	／	●	○ □	／	／	／	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農山漁村体験研修の実施	一般社団法人九州のムラ	／	／	／	●	○ □	／	／	／	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農山漁村体験研修の実施	特定非営利活動法人 サービスグラント	／	／	／	●	○ □	／	／	／	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農山漁村体験研修の実施	日本航空株式会社	／	／	／	●	○ □	／	／	／	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農山漁村体験研修の実施	農ライフーズ株式会社	／	／	／	●	○ □	／	／	／	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農山漁村体験研修の実施	ハレノヒ株式会社	／	／	／	●	○ □	／	／	／	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。

メニュー	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
情報の発信及び共有	株式会社時事通信社	/	/	/	● ■	/	/	/	/	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
メニュー	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
農村プロデューサー養成講座の実施	株式会社パソナ農援隊	/	/	/	● ■	/	/	/	/	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)
(注2)「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調 評価対象外・・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領(平成30年3月28日付け29農振第2262号農林水産省農村振興局長通知)の第13の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 大江靖雄(東京農業大学教授)
委員: 落合基継(早稲田大学准教授)、嵩和雄(國學院大學准教授)、金子洋二(大正大学准教授)

【令和5年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会分科会
1 日 時 : 令和5年7月21日(金) 14:00～16:00 2 場 所 : 農村振興局会議室(Web開催) 3 議事概要 ① 令和4年度評価対象事業実施主体の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和4年度評価対象事業実施主体の取組状況及び評価について 令和4年度に事業を実施した8事業実施主体の、取組状況、事業実績、実施体制及び評価案に関して説明し、了承を得た。 4 主な意見 ・体験研修事業について、対象者から就職氷河期世代を発掘するのは難しいと感じるが、就職氷河期世代の中でも就職に苦労されている本当の意味でのターゲットに応用できるかどうかが重要ではないか。 ・体験研修において地域とどのような関係を持ったかということが重要。事業を成功させるには参加者の絞り込みが重要となる一方、研修人数の目標も設定しているため数を確保しなければならないことが悩ましいところであり、各事業者において工夫が求められる。 ・自走化に向け、各事業者において、本事業の実施成果をうまく反映していくことができるよう、工夫してほしい。 ・農村プロデューサー養成講座について、セミナーの実施数や受講人数だけでなく、質の面での評価も重要である。